

# 平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。  
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

<b>事務事業コード</b>	131101							
<b>事務事業名</b>	高齢者食生活改善等事業		<b>担当部局・課</b> 健康福祉部 健康福祉課					
<b>事業内容</b>	高齢者食生活改善事業の対象は特定高齢者とし、食の観点から参加型健康教育を実施。運動教室の対象者は一般高齢者とし、一般高齢者を対象にウォーキングを主体とした運動教室を実施		<b>事業開始(予定)年度</b> —					
			<b>事業終了(予定)年度</b> —					
<b>この事業の上位施策</b>	<b>これから5年間のまちづくりプラン</b>	<b>視点</b>	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		<b>項目</b>	きめ細かな地域福祉の推進					
		<b>施策</b>	介護予防事業の実施					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
<b>事業の目的</b>	これらの参加型健康教育を実施することで、健康寿命の延伸、日常生活動作能力(ADL)の低下予防、生活の質(QOL)の向上を図る。		<b>予算費目</b> (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)					
			(款) 特別会計 (項) (事項) (目)					
<b>事業費等の概算</b>	<b>平成17年度(決算)</b>		<b>平成18年度(予算)</b>					
	<b>事業費</b>	1,231千円	<b>財源内訳</b>		<b>事業費</b>	733千円	<b>財源内訳</b>	
			<b>国・県補助金等</b>	932千円			<b>国・県補助金等</b>	—
			<b>市債</b>	—			<b>市債</b>	—
			<b>その他(使用料等)</b>	—			<b>その他(使用料等)</b>	—
	<b>一般財源(市税等)</b>		299千円	<b>一般財源(市税等)</b>		733千円		
<b>投入人員</b>	0,30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		<b>投入人員</b>	0,30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
<b>人件費</b>	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		<b>人件費</b>	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
<b>経費合計</b>	3,801千円		<b>経費合計</b>	3,303千円				
<b>活動指標</b>	<b>指標名(単位)</b>	延参加者数(人)		<b>計画と実績</b>	<b>年度</b>	<b>H17年度</b>	<b>H18年度</b>	
	<b>意味・算式等</b>					<b>区分</b>	<b>計画値</b>	—
					<b>実績値</b>	—	—	

<b>評価結果</b>	<b>B</b>
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。